

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点 知 思 態			評価規準 評価方法
1 学期	4 月	1	オリエンテーション	授業の受け方を理解する			○	
		3	歌唱「発声」 創作「リズム」	学習目標「基本の発声の習得」（以後継続＝常時活動） ◎ハーモニーの美しさを感じ、歌声で明るく挨拶をかわす。 ◎自分の持っている声を知る。 ◎呼吸法 ◎「あくびの歌」 ◎マイマイマイ発声（リズム創作）	○	○	○	☆笑顔で開口し、明るい歌声を出そうと意欲的に試みている。 ☆歌う姿勢や発声法を体得し、響きのある声で歌おうとしている。 ☆音程、リズム、前後の流れを理解しながら、マイマイマイ発声に取り組むことができています。 [授業観察・実技試験]
			歌唱「全校合唱曲練習」	学習目標「音楽の諸要素を感じながら自然で明るくのびのびと歌唱する」 ◎歌唱の姿勢や発声の方法を学び体全体で表現する。 ◎歌詞や強弱記号などに注意して表現する。	○	○	○	☆笑顔で開口し、学習した発声を生かして歌唱できる ☆音楽の諸要素を生かして歌唱することができる [授業観察・実技試験]
	5 月		歌唱「翼をください」「さまざまな歌唱」	学習目標「曲想の変化を感じ取って、響きのある声で歌おう。」 ◎楽曲に相応しい発声方法がいろいろあることを知る。 ◎旋律や歌詞の感じから、歌い方を工夫する。	○	○	○	☆楽曲に相応しい発声方法を習得しようとしている。 ☆歌い方を工夫し、自分の歌声のもつ表現力を知り、表現しようとしている。 [授業観察・筆記試験]
		4	楽典基礎知識 1	学習目標「1年の復習をしよう」 ◎リズムや諸記号を再確認する。	○		○	☆リズムを正しく打つことができる。 ☆諸記号を正しく覚えている。 [授業観察・筆記試験]
			歌唱「サンタルチア」	学習目標「発声に留意して表情豊かに歌おう」 ◎カンツォーネにおけるベルカント唱法に興味をもち、豊かな発声に留意しながら演奏する。	○	○	○	☆ベルカント唱法に留意しながら主体的・協働的に歌唱活動に取り組む、その学びを合唱にも活かすことができる。 [授業観察・筆記試験・実技試験・ワークシート]
	6 月	2	鑑賞「アイダ」	学習目標オペラに親しみ、その音楽を味わおう。」 ◎オペラの特徴や魅力について理解する。 ◎舞台芸術に親しみ、その音楽を味わう。	○	○	○	音楽の特徴や背景となる文化・歴史、他の芸術との関連を理解し、生活や社会における音楽の役割を考えながら、そのよさや美しさを味わって鑑賞している。 [授業観察・筆記試験・ワークシート]
	7 月		歌唱「合唱祭に向けて」	学習目標「仲間と共に表情豊かに合唱しよう」 ◎自分たちの歌うクラス曲を真剣に選曲する。 ◎歌う姿勢を身につけ、伸びやかな響きのある声を出す。 ◎他パートにつられず、ハーモニーを作る。 ◎曲の特性を活かし、表現を工夫して美しい合唱に仕上げる。	○	○	○	☆曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 [授業観察・実技試験・楽譜の書込み・ワークプリント]
	2 学期	8 月	歌唱「合唱祭に向けて」	学習目標「曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。」 ◎動機の発展による曲の構成や管弦楽による表現の豊かさを味わう。 ◎ソナタ形式を理解する。 ◎オーケストラの配置を覚える ◎鑑賞時にイメージを持ちながら聴くことができる。	○	○	○	☆曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 [授業観察・筆記試験・ワークシート]
		9 月	鑑賞「交響曲第5番」	学習目標「情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。」 ◎楽曲の特徴を理解し、歌唱表現をする。 ◎2～3人のグループ編成毎に協力し合い、作詞・作曲者の意図を組みながら表現の工夫をして、歌唱表現する。	○	○	○	☆曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌うことができる。 [授業観察・筆記試験・実技試験・楽譜の書込み]
		1 0 月	鑑賞「交響曲第5番」	学習目標「歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。」 ◎日本の伝統音楽の魅力 やその良さを味わい、我が国の音楽に親しむ	○	○	○	☆音楽の特徴や背景、他の芸術との関連を理解し、生活や社会における意味や役割、表現の共通性・固有性に着目しながら、そのよさや美しさを味わって鑑賞することができる。 [授業観察・筆記用具・ワークシート]
		1 1 月	歌唱「日本歌曲」	学習目標「二部形式の創作に挑戦」 ◎Webサイトのカットカートを利用し、日本歌曲で学んだ二部形式の作りを生かして8～16小節の楽曲を創作する	○	○	○	☆音楽素材や構成上の特徴を理解し、表現したいイメージに即して創意工夫を凝らしながら音楽を創作している。 [授業観察・発表]
3 学期	1 月	1	鑑賞「歌舞伎・文楽」	教材名「式歌」・「混声合唱」 ◎これまでの学びを活かした歌唱活動を創意工夫し、ベルカント唱法を意識してパート別練習を行い歌えるようにする。	○	○	○	☆音楽の構造や歌詞と曲想との関係に関心を持ち、主体的かつ協働的に歌唱活動に取り組もうとしている。 [授業観察・実技試験・楽譜の書込み・ワークプリント]
	2 月	4	創作「カットカートン」		○	○	○	
	3 月	4	歌唱「式歌」 「混声合唱」		○	○	○	
					○	○	○	